

研究部 活動計画

1. 担当者

- ◎鈴木真之介〔札幌市立真栄中学校〕
- 後藤 卓〔札幌市立幌南小学校〕
- 田中 大地〔札幌市立北都中学校〕
- 渡部 伸野〔札幌市立北都小学校〕
- 松岡 佑〔北海道教育大学附属札幌小学校〕
- 鈴木 智史〔札幌市立中央小学校〕
- 廣川 友太〔札幌市立二条小学校〕
- 松森 亮介〔札幌市立屯田北中学校〕
- 高橋 翔太〔北海道教育大学附属札幌中学校〕
- 遠藤 翔太〔札幌市立真栄中学校〕
- 安田 光佑〔札幌市立澄川中学校〕

2. 主な業務内容

- 1 研究主題の設定、研究活動の推進
- 2 研究大会の計画及び運営
- 3 学習会等を通じた全市・全道への研究活動の発信と、国語科授業研鑽の機会提案
- 4 全国の研究団体との交流、及び研究動向の調査
- 5 全道・全国における研究会・研修会等への講師派遣

3. 業務内容の具体

- 1 研究主題の設定、研究活動の推進

「言葉を通して、豊かな未来を創造する国語科の学び」

⇒北海道の国語科授業における児童生徒の〈学びの方向性〉を提案するものを、「研究主題」とする

重点① ◎前年度大会（深川）の成果と、●今年度大会（函館）とのつながりを大切にした実践

◎言葉を拠り所として正確に理解し、適切に表現する「確かな言葉の力」の育み

◎小中9年間、さらには生涯にわたってつながるような学びの系統性＝「つながり」を見通した実践

●ICT端末の効果的な活用を通じた、個別最適な学びと協働的な学びの実現

●「指導と評価の一体化」のより一層の実現と、国語科年間指導計画の工夫・改善

⇒国語科教育を貫く「実生活に生きて働く力」の育みと、ICT機器をはじめとした多様なツールの利活用を通じた、より一層の言葉の力の育みを目指した実践の在り方

重点② 児童生徒自らが学びの主体となるための「問い」を生み出す単元・授業づくりの推進

- ・児童生徒自らが言葉の中から問題を発見し、課題を設定していくための「問い」を大切にする。
⇒主体的な学びを具現化するための学習活動を生み出し、育成を目指す資質・能力の育みと結びつく「学習課題」を練り上げる。
- ・他者との協働的な議論等を通して生み出していく「問い」を大切にする。
⇒書き手や話し手の思いや考えを読み取る（聞き取る）理解力の育みへ。
- ・自らの言葉に対する「問い」を大切にする。
⇒言葉を大切にし、自分の思いや考えを的確に伝え、他者への配慮と信頼を高める表現力の育みへ。

重点③ 創造性の発揮に寄与する「学びのつながり」を意識した単元・授業づくりの推進

- ・連盟における「3つのつながり」の一つである「(小・中の) 縦のつながり」を改めて大切にする。
- ・資質・能力ベースで国語科の学習を捉え直し、単元・授業の構成の工夫を図る。
- ・身に付いた力の自覚が促されるような適切な評価の在り方の工夫を模索する。
⇒児童生徒の視点に立つ際の「学び」がどのようにつながっていくかを捉えることで、言葉を通した新たな価値創造へと結び付くような国語科の学びの実現へ。

2 研究大会の計画及び運営

3 学習会等を通じた全市・全道への研究活動の発信と、国語科授業研鑽の機会提案

全道大会や各地区の研究大会においては、開催地区の研究成果を継承し、各地区の研究部と連携を取りながら企画・運営にあたる。

学習会等については、本連盟の研究主題、授業実践の成果や課題を広く発信するとともに、国語科教師としての力量を高め、知見を広げられるような「横のつながり」の強化に結び付く取組となるよう、各地区で適宜設定し運営にあたる。企画・運営は、小中学部や各地区の研修部との連携に努める。

4 全国の研究団体との交流、及び研究動向の調査

5 全道・全国における研究会・研修会等への講師派遣

全道の研究団体はもちろん、全国の研究団体とも積極的に交流を図り、各地の研究動向の把握に努める。さらに、全国へ本連盟の研究内容を積極的に発信するために、提言発表者や講師等の派遣依頼があった場合は、事務局の助言を受けながら人選に当たる。

4. 年間計画		
時期	全道	札幌地区
4月	<ul style="list-style-type: none"> ■研究部活動計画(案)の作成・提案 ■全道大会・全国大会の提言者決定 ■全道各地への講師派遣者選定 	<ul style="list-style-type: none"> ■研究部活動計画(案)の検討 ■令和7年度札幌大会に向けた推進計画の検討
5月	<ul style="list-style-type: none"> ■役員会、常任委員会での年間活動計画及び研究主題の提案 ■各地区との研究推進計画の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ■月例学習会チーフと研究内容の検討 ■小中学部と連携した学習会の企画・運営
6月	<ul style="list-style-type: none"> ■夏の学習会の講師及び発表者の選定 	
7月	<ul style="list-style-type: none"> ■夏の学習会（研究部主催） 	<ul style="list-style-type: none"> ■月例会の進捗状況確認・見通し共有
8月	<ul style="list-style-type: none"> ■全道大会開催地との連絡・調整 ■開催要項作成に向けた調整⇔情報部 	
9月	<ul style="list-style-type: none"> ■全道大会開催地との最終調整 	
10月	<ul style="list-style-type: none"> ■全道大会開催 国語教育連盟総会 	
11月	<ul style="list-style-type: none"> ■全道大会の反省・振り返り集約 	
12月		<ul style="list-style-type: none"> ■冬の学習会の実施に向けた連携
1月		<ul style="list-style-type: none"> ■冬の学習会(小中学部主催)
2月	<ul style="list-style-type: none"> ■年度末反省 	<ul style="list-style-type: none"> ■冬の学習会の反省・振り返りの共有 ■次年度の展望
3月	<ul style="list-style-type: none"> ■次年度の研究活動計画の素案作成 ■次年度全道大会の研究推進の連絡調整 	